

地震災害から身を守るために

～安全対策と避難行動～



危機管理課危機管理係 ☎(63)2158

ハザードマップで準備を!



ハザードマップには地震対策と非常時持出品の例について掲載しています。日頃から地震に備えましょう!

① 地震災害から命を守るためには～事前の安全対策～

地震は、突発的に発生します。「命を守る」ためには、普段から家の中を安全な場所にしておく必要があります。

- 家具は固定されていますか?
 - L字金具・連結金具・ポール式で固定 (マット式を併用し強度アップ)
- 家具が倒れてきても大丈夫なようになっていますか?
 - 安全な空間を確保できるよう家具を配置 ● ドアが開くよう避難経路を確保
- 家具から物が落ちたり、ガラスが割れる危険はありませんか?
 - 高いところに物を置かない ● 飛散防止フィルムで防ぐ ● 扉開放防止器具で固定

② 地震が発生したときの避難行動

地震発生

1~2分

3分

5分

10分
数時間
3日

最初の大きな揺れは約1分間

- あわてずに身の安全を確保する

揺れがおさまったら

- 火元を確認する 火が出たら、落ち着いて初期消火する
- 家族の安全を確認する 倒れた家具の下敷きになっていないか確認する
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦の落下・ブロック塀の倒壊・自動販売機などの転倒に注意する

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声を掛けよう
- 要配慮者の安全を確保する ● 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか確認する ● ケガ人はいないか確認する

出火防止 初期消火

- 消火器を使う ● 余震に注意する
- 漏電・ガス漏れに注意する 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める

テレビ・スマートフォン・ラジオなどで正しい情報を確認する

- 防災機関、自主防災組織の情報を確認する
- デマにまどわされないようにする ● 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する

協力して消火活動、救出・救護活動をする

- 水、食料は蓄えているものでまかなう
- 災害・被害情報を収集する ● 壊れた家に入らない
- 近くの人を救出・救護する



命

を守るために、アプリやメールで市から防災情報を入手しましょう



防災情報伝達アプリ iPhoneの場合 (App Store)



防災情報伝達アプリ Androidの場合 (GooglePlay)



災害情報メール (フィーチャーフォン・ガラケー等)

bousai.kanuma-city@raidens3.ktaiwork.jpへ空メールを送信してください。



確認しましょう わが家のこと・地域のこと

建築指導課建築指導係 ☎(63)2242

●市による無料耐震診断

市では、簡易的な耐震診断を無料で行っています。



●「危険ブロック塀等の撤去補助金」

小学校の通学路に面する危険ブロック塀等の撤去に関する費用の3分の2 (上限20万円) を補助します。

